

納付には安心便利な 口座振替・自動払込を！

川西市指定の金融機関があなたにかわって口座から引落とし、自動的に納付できる方法です。

新規加入の人は**原則口座振替になります**。現在納付書で納められている人は、口座振替のお申し込みをさせていただきますよう、ご協力をお願いします。一度の手続きで、毎年自動的に続きます。

口座振替の手続き方法

- ① 金融機関(指定金融機関等)各支店の窓口で手続きする場合
口座振替依頼書、通帳、届出印、被保険者証を持参し、お手続きください。
- ② 市役所の窓口(保険収納課または国民健康保険課)で手続きする場合
(ただし、金融機関が次の場合で、口座名義人本人(同一世帯の人)が手続きされる場合に限り)

<取扱い金融機関> (令和5年4月1日現在)

三井住友銀行、池田泉州銀行、関西みらい銀行、京都銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、みなと銀行、りそな銀行、尼崎信用金庫、兵庫六甲農業協同組合、ゆうちょ銀行

<手続きのときに必要なもの>

被保険者証、振替口座のキャッシュカード、マイナンバーカードなどの手続きされる人の本人確認書類

※手続きのときに暗証番号の入力が必要です。

なお、上記金融機関ではない指定金融機関の場合や、口座名義人本人ではない人が手続きをされる場合は、通帳・届出印・被保険者証をお持ちください。

納期限が過ぎたものや、随時課税分については、口座振替の取り扱いはできません。口座振替ご利用の人の振替納付の結果については、預貯金通帳の記帳によりご確認ください。川西市指定の金融機関は口座振替依頼書に記載しています。

コンビニでも納付できます

保険税の納付書はコンビニエンスストアでも納付できます(手数料はかかりません)。利用できるコンビニエンスストアは納付書裏面をご確認ください。

ただし、下記の納付書はコンビニエンスストアでの納付はできません。

- 1 金額が納付書1枚につき30万円を超える納付書
- 2 バーコードのない納付書や、傷や汚れなどによりバーコードを読み取れない納付書
- 3 納付期限が過ぎた納付書

地方税統一QRコード(eL-QR)を利用した 納付方法が追加され便利になります！

令和5年6月から、納付書に印字された地方税統一QRコード(eL-QR)を自宅のパソコンやスマホ等から読み取り、クレジットカードやスマホ決済アプリ等による納付が簡単にできるようになります。

「eL-QR」を使用するにあたっての注意事項や各納付方法の利用手順等については市ホームページ(右記のQRコード)や「地方税お支払サイト」をご参照ください。



※利用可能な金融機関、スマホ決済アプリなど最新情報は「地方税お支払サイト」をご確認ください。

利用できる決済方法▶▶▶

地方税お支払サイト

- クレジットカード納付(システム利用料の負担が必要)
- インターネットバンキング
- ダイレクト納付(事前に登録した金融機関口座を指定して、直接税金を納付する方法(納付の都度手続きが必要))

※地方税お支払サイトでの納付については、領収証書を発行いたしません。

スマホ決済アプリ

「eL-QR」に対応した、各種スマホアプリを直接起動し、納付書の表面に印字されている「eL-QR」を読み取ることで納付ができます。

スマホ決済アプリでの納付については、領収証書を発行いたしません。支払履歴でご確認ください。

- 利用できるスマホ決済アプリ(令和5年4月時点)

PayPay PayB FamiPay au PAY d払い 楽天ペイ 等

※アプリの使用方法等は各アプリの公式サイトにてご確認ください。

※LINE Payの場合は、納付書に印字されたバーコードを読み取ることで納付ができます。(「eL-QR」での納付はできません。)

金融機関等での現金納付

従来は川西市指定金融機関等の窓口でしか納付できませんでしたが、「eL-QR」によって全国の多くの金融機関窓口で納付ができるようになります。

(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)